

「吉田松陰」を主張し、国士舘大学の建学の精神となつた吉田松陰を、改めて問ひ直す。  
明治維新の思想的原動力となる尊王攘夷論を

国士舘大学吉田松陰研究会

# 「吉田松陰」

楓門祭シンポジウム

2021年11月3日[水] 13:00～16:00

会場 国士舘大学世田谷キャンパス 34号館 B303教室

## 報告

「吉田松陰研究の現在」

勝田 政治(文学部教授)

「『一君万民』と『草莽崛起』—吉田松陰におけるナショナリズムの論理—」

織田 健志(政経学部准教授)

「吉田松陰と『講孟剖記』—松陰はいかに『孟子』を読んだか—」

松野 敏之(文学部教授)

「神として奉斎された吉田松陰」

藤森 馨(文学部教授)

コーディネーター 吉原 裕一(文学部准教授)